

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	老年看護援助論 I Nursing Care of the Elderly I			担当 教員	沼本教子（専任） 坪井桂子（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義とゼミ	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		高齢者に発生しやすい複雑で多様な健康障害の特徴を理解し、健康レベルに応じた看護援助の方法について学ぶ。また、治療や療養の場における介護家族の問題を把握し、効果的介入方法を探究する。						
授業のキーワード		老化と加齢、生理的老化、老年病、高齢者のせん妄、せん妄アセスメントツール、介護家族、介護資源、レスパイトケア						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
1～4回 5～7回 8～10回 11～15回	<p>I. 老化過程に伴って発生する心身の健康問題と援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学的な老化と病理学的変化のアセスメント、治療と看護</li> <li>・心理社会的な老化と病理学的変化のアセスメント、治療と看護</li> <li>・老年期に発生する健康問題、疾患の特徴、特に複雑性・多様性についての理解</li> <li>・症状把握の困難性を踏まえた看護アセスメントと看護ケアの特徴</li> </ul> <p>II. 急性期治療・ケアの場において高齢者特有の看護、特に発生頻度の高い、せん妄状態にある高齢者の看護ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のせん妄の発症過程と発症因子</li> <li>・せん妄アセスメントと介入方法</li> </ul> <p>III. 施設や在宅で生活している高齢者を介護する家族への支援のあり方と援助方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族を看護する看護者の役割と基本姿勢</li> <li>・施設と在宅療養のプロセスの各段階における家族の看護アセスメントと介入方法、他職種との協働</li> <li>・家族の関係性に働きかける援助</li> <li>・介護資源の活用と開発</li> <li>・家族に対する援助の評価方法</li> </ul>							
テキスト	講義中に提示							
参考文献	講義中に提示							
成績評価の方法	プレゼンテーションの準備、内容、参加態度(100%)							
教員から学生へのメッセージ	<p>老人看護専門看護師の資質を決定する看護の専門性を習得するための学科目です。老年期に発症しやすい疾患、病態を広く理解し、看護実践の基礎となる知識を習得しましょう。また、高齢者の急性期治療から在宅ケアの場への円滑な移行を支援できる能力も身につける必要があります。</p>							